

<p>【技術の名称】 名工建設式基礎梁大開孔補強工法 -基礎梁大開孔補強法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 22-37 号 性能証明発効日：2023 年 3 月 27 日</p> <p>【取得者】 名工建設株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート基礎梁に設けた大開孔を補強する工法であり、孔周囲の補強は孔を囲むように配置する斜め補強筋、孔左右に配置する孔際縦補強筋、孔上下に配置する弦材軸筋、弦材あばら筋により補強する技術である。形状が六角形の溶接閉鎖型の斜め補強筋と 2 枚のコ形の補強筋を組み合わせた外周筋と一端を 135° フック、他端を 90° フックとした中子筋による弦材あばら筋を用いることを特徴としている。

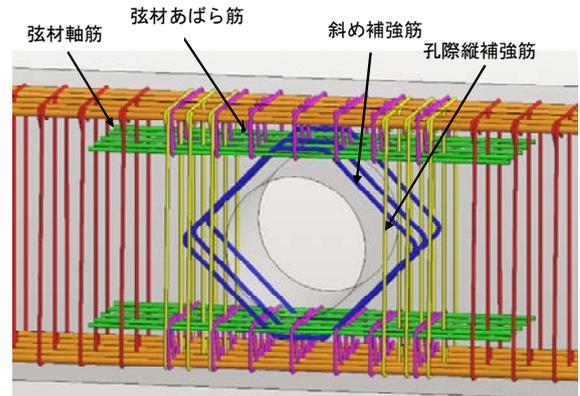


図 1 基礎梁大開孔補強工法図

【技術開発の趣旨】

中低層の鉄筋コンクリート造建築物、鉄骨造建築物において、用途が事務所や共同住宅等の場合には床下設備点検用の地下ピットが計画され、基礎梁に直径 600mm の人通孔が設けられる。「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 2018 年版(日本建築学会)」によれば開孔径は梁せいの 1/3 以下と規定されており、梁せいを 1800mm 以上とする必要が生じ、過剰な設計となる場合がある。これを改善するために、開孔径が梁せいの 1/2 まで拡大できる工法として開発された。

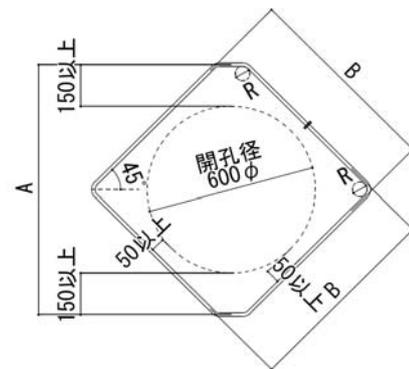


図 2 斜め補強筋図

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「名工建設式基礎梁大開孔補強工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート造基礎梁は、同指針で定める長期荷重時(使用限界時)に使用上支障のあるひび割れ、および短期荷重時(損傷限界時)に修復性を損なうひび割れを起こさず、同指針で定める終局耐力を有する。



図 3 開孔位置図

【本技術の問い合わせ先】

名工建設株式会社 担当：建築本部建築技術部 北村 敏也
 〒450-6113 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 4 号
 JR セントラルタワーズ 35 階

E-mail : toshiya_kitamura@meikokensetsu.co.jp

TEL : 052-756-2495 FAX : 052-462-1935